



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 藤倉化成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 下田 善三

TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	54,016	35.9	2,007	86.4	2,320	109.7	1,473	112.7
25年3月期第3四半期	39,739	0.6	1,077	△36.7	1,107	△33.5	692	3.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,056百万円 (423.0%) 25年3月期第3四半期 584百万円 (52.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	45.07	—
25年3月期第3四半期	21.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	50,669	28,667	52.3
25年3月期	45,604	25,768	53.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 26,479百万円 25年3月期 24,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	28.1	2,600	85.4	2,900	79.5	1,800	13.3	55.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	32,716,878 株	25年3月期	32,716,878 株
26年3月期3Q	38,168 株	25年3月期	38,168 株
26年3月期3Q	32,678,710 株	25年3月期3Q	32,678,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項につきましては、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済対策・金融緩和政策等への期待感を背景に円安・株高が進行し、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費の増加など、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、円安進行に伴う原材料価格の上昇や今春に控えた消費増税に伴う景気減速の懸念など、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は540億16百万円（前年同期比35.9%増）となり、営業利益は20億7百万円（同86.4%増）、経常利益は23億20百万円（同109.7%増）、四半期純利益14億73百万円（同112.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車分野においては、自動車販売の好調が続くアメリカ市場での需要が順調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は158億12百万円（同22.3%増）となり、営業利益は9億38百万円（同280.7%増）となりました。

② 建築用塗料

建築用コーティング材を取扱う建築用塗料部門におきましては、リフォーム向け市場における需要が順調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は103億39百万円（同11.7%増）となり、営業利益は6億70百万円（同0.8%減）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）を取扱う電子材料部門におきましては、主要な原材料である銀の建値の下落や、電子部品業界における競争の激化などにより需要が低迷し、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は31億64百万円（同6.9%減）となり、営業利益は1億41百万円（同423.5%増）となりました。

④ 機能材料

樹脂ベースなどを取扱う機能材料部門におきましては、主力の粘接着剤ベースにおいては需要回復の動きが見られましたが、メディカル材料分野においては低調に推移いたしました。

この結果、売上高は11億87百万円（同1.6%増）となり、営業損失は58百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）となりました。

⑤ 化成品

トナー用樹脂などを取扱う化成品部門におきましては、主力ユーザーにおける在庫調整の影響もあり需要が低調に推移し、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は17億39百万円（同6.6%減）となり、営業利益は47百万円（同74.7%減）となりました。

⑥ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、需要拡大が続くLED液晶テレビ向け関連製品が牽引役となって、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は218億92百万円（同94.5%増）となり、営業利益は2億69百万円（前年同四半期は営業損失38百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ50億65百万円（前連結会計年度末比11.1%）増加し、506億69百万円となりました。

① 流動資産

売上増加による売上債権の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ36億70百万円（同13.4%）増加し、310億82百万円となりました。

② 固定資産

中国子会社の上海藤倉化成塗料有限公司の新規連結による有形固定資産の増加及びFujikura Kasei Coating India Private Ltd.増資による投資有価証券の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ13億96百万円（同7.7%）増加し、195億88百万円となりました。

③ 流動負債

売上高増加に伴い原材料の購入増加による仕入債務の増加及び子会社の運転資金調達による短期借入金が増加などの結果、前連結会計年度末と比べ25億96百万円（同18.5%）増加し、166億33百万円となりました。

④ 固定負債

社債の償還などの結果、前連結会計年度末と比べ4億31百万円（同7.4%）減少し、53億70百万円となりました。

⑤ 純資産

利益剰余金及び少数株主持分が増加したことにより、前連結会計年度末と比べ28億99百万円（同11.3%）増加し、286億67百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の53.1%から52.3%へと0.8ポイント減少となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末より69円15銭増加し、810円28銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、平成25年11月8日に公表いたしました業績予想を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（たな卸資産の評価方法の変更）

第2四半期連結会計期間より、当社はたな卸資産の評価方法を、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）から、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更致しました。

この変更は、当社が平成25年7月に統合基幹業務システムを新規に導入したことに伴い、たな卸資産残高の確定手続きの効率化を図るために行ったものであります。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

また、この変更は、当社が平成25年7月に統合基幹業務システムを新規に導入したことに伴うものであるため、第2四半期連結会計期間より変更しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,056,895	10,324,708
受取手形及び売掛金	12,897,005	13,774,452
商品及び製品	2,906,750	3,680,143
仕掛品	46,528	35,421
原材料及び貯蔵品	1,714,644	2,039,239
繰延税金資産	500,923	448,065
その他	460,713	966,201
貸倒引当金	△171,149	△186,330
流動資産合計	27,412,309	31,081,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,552,482	9,439,134
減価償却累計額	△4,381,068	△4,605,464
建物及び構築物（純額）	4,171,414	4,833,670
機械装置及び運搬具	10,592,580	10,976,947
減価償却累計額	△7,866,872	△8,384,710
機械装置及び運搬具（純額）	2,725,708	2,592,237
工具、器具及び備品	3,373,202	3,558,399
減価償却累計額	△2,875,464	△2,918,916
工具、器具及び備品（純額）	497,738	639,483
土地	4,220,328	4,319,818
リース資産	358,510	348,690
減価償却累計額	△209,709	△240,203
リース資産（純額）	148,801	108,487
建設仮勘定	33,124	145,663
有形固定資産合計	11,797,113	12,639,358
無形固定資産		
ソフトウェア	913,997	999,431
その他	861,678	913,027
無形固定資産合計	1,775,675	1,912,458
投資その他の資産		
投資有価証券	1,404,181	2,207,970
長期貸付金	60,303	52,578
繰延税金資産	1,112,164	835,323
その他	2,079,685	2,085,938
貸倒引当金	△37,194	△146,040
投資その他の資産合計	4,619,139	5,035,769
固定資産合計	18,191,927	19,587,585
資産合計	45,604,236	50,669,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,412,845	9,607,480
短期借入金	2,349,705	3,169,491
1年内償還予定の社債	720,000	860,000
未払法人税等	178,413	257,151
未払費用	778,627	930,238
賞与引当金	616,864	370,854
リース債務	76,466	49,005
その他	903,250	1,388,390
流動負債合計	14,036,170	16,632,609
固定負債		
社債	2,500,000	2,000,000
長期借入金	104,648	78,995
繰延税金負債	66,536	63,293
退職給付引当金	2,281,390	2,429,540
長期未払金	400,537	279,660
リース債務	87,259	64,669
その他	360,054	453,658
固定負債合計	5,800,424	5,369,815
負債合計	19,836,594	22,002,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	13,852,160	14,843,160
自己株式	△24,969	△24,969
株主資本合計	24,219,511	25,210,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,328	481,834
為替換算調整勘定	△82,771	786,550
その他の包括利益累計額合計	△443	1,268,384
少数株主持分	1,548,574	2,188,165
純資産合計	25,767,642	28,667,060
負債純資産合計	45,604,236	50,669,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	39,738,802	54,015,869
売上原価	29,478,376	41,940,000
売上総利益	10,260,426	12,075,869
販売費及び一般管理費	9,183,212	10,068,436
営業利益	1,077,214	2,007,433
営業外収益		
受取利息	5,480	9,857
受取配当金	32,529	46,663
固定資産賃貸料	50,004	50,239
為替差益	—	155,263
その他	99,473	160,159
営業外収益合計	187,486	422,181
営業外費用		
支払利息	70,854	63,375
社債発行費	38,226	—
その他	48,978	45,924
営業外費用合計	158,058	109,299
経常利益	1,106,642	2,320,315
特別利益		
退職給付制度改定益	131,032	—
負ののれん発生益	—	166,103
特別利益合計	131,032	166,103
特別損失		
固定資産除却損	—	47,538
投資有価証券評価損	20,617	—
投資有価証券売却損	—	16,455
貸倒引当金繰入額	—	131,731
特別損失合計	20,617	195,724
税金等調整前四半期純利益	1,217,057	2,290,694
法人税、住民税及び事業税	365,917	466,149
法人税等調整額	108,505	179,176
法人税等合計	474,422	645,325
少数株主損益調整前四半期純利益	742,635	1,645,369
少数株主利益	50,142	172,431
四半期純利益	692,493	1,472,938

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	742,635	1,645,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,952	403,872
為替換算調整勘定	△115,842	1,002,226
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,471	4,534
その他の包括利益合計	△158,265	1,410,632
四半期包括利益	584,370	3,056,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	527,308	2,708,747
少数株主に係る四半期包括利益	57,062	347,254

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	12,923,433	9,255,990	3,383,699	1,168,837	1,862,047	11,144,796	39,738,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	88	15,933	363	—	109,529	125,913
計	12,923,433	9,256,078	3,399,632	1,169,200	1,862,047	11,254,325	39,864,715
セグメント利益 又は損失(△)	246,424	675,606	26,989	△19,978	186,187	△38,182	1,077,046

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,077,046
セグメント間取引消去	168
四半期連結損益計算書の営業利益	1,077,214

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	15,811,743	10,338,913	3,140,584	1,187,332	1,738,553	21,798,744	54,015,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	23,004	133	—	92,769	115,906
計	15,811,743	10,338,913	3,163,588	1,187,465	1,738,553	21,891,513	54,131,775
セグメント利益又は損失(△)	938,110	669,987	141,297	△57,945	47,180	268,798	2,007,427

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,007,427
セグメント間取引消去	6
四半期連結損益計算書の営業利益	2,007,433

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「建築用塗料」セグメントにおいて、連結子会社であるフジケミ近畿㈱の株式の追加取得を行い、完全子会社化したことにより、負ののれん発生益が生じております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、166,103千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。